

05 全事研第1号
令和5年4月1日

各都道府県教育委員会教育長 様
全国市区町村教育委員会教育長 様
全国公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校長 様
教 育 関 係 者 様

全国公立小中学校事務職員研究会
会 長 阿 部 貴 子
第55回全国公立小中学校事務研究大会
実行委員長 廣 野 る み 子

第55回全国公立小中学校事務研究大会 (福井大会) の開催について (依頼)

陽春の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から本会の研究活動に対しまして、御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、第55回全国公立小中学校事務研究大会を開催要項のとおり、福井県福井市において現地参集及びオンラインを併用したハイブリッド形式にて開催することになりました。

つきましては、この研究大会を盛大かつ実りのあるものにしたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

学校事務のミッション - 子どもの豊かな育ちを支援する-

第55回全国公立小中学校学校事務研究大会（福井大会）

開催要項

- 1 大会テーマ 「 地域とともにある学校をつくるリーダーシップと組織開発 」
 — みんながリーダー！ 子どもたちの「福」があふれる新時代の組織づくり —
- 2 目的 子どもが自らの幸福を探求し、これからの社会の創り手として生きる力を身に付けるためには、学校・家庭・地域がそれぞれに責任と権限をもち、豊かな学びの場を協創していく必要がある。この組織体制の構築には、各主体がビジョンを共有し、互いにつながり合いながら学校力を高めていく組織開発が重要であるとする。本大会では、地域とともにある学校づくりにおいて必要なリーダーシップの在り方と、子どもの学びにかかわる一人一人の意識や行動を変革し協働体制を構築する事務職員・共同学校事務室の姿を追究する。
- 3 主催 全国公立小中学校学校事務職員研究会
- 4 共催 北越地区公立小中学校学校事務職員研究会
- 5 主管 福井県公立小中学校学校事務職員研究会
- 6 後援 文部科学省 全国都道府県教育長協議会 福井県教育委員会
 新潟県教育委員会 富山県教育委員会 石川県教育委員会 新潟市教育委員会
 福井市 福井市教育委員会 指定都市教育委員会協議会
 全国市町村教育委員会連合会 全国都市教育長協議会 全国町村教育長会
 福井県市町教育委員会連絡協議会 福井県都市教育長協議会 福井県町教育長会
 全国連合小学校長会 全日本中学校長会
 福井県小学校長会 福井県中学校長会 福井県公立小中学校教頭会
 公益社団法人日本PTA全国協議会 福井県PTA連合会
 公益財団法人日本教育公務員弘済会 公益財団法人日本教育公務員弘済会福井支部
 一般財団法人教職員生涯福祉財団
 教職員共済生活協同組合 教職員共済生活協同組合福井県事業所
 福井県学校生活協同組合 福井県教育用品株式会社
- 7 期 日 令和5年8月3日（木）～ 8月4日（金）
 ※現地参集及びオンライン参加によるハイブリッド開催

8 日 程

		9:30	10:00	11:00		12:00	12:30	13:30	16:30
8月3日（木） （1日目）	受付	開 会 式	オリエン テーション	文部科学省 行政説明	活動報告	昼食	全体研究会 I		

		9:00	9:30	12:30		14:00	14:40	14:55	16:25	16:45
8月4日（金） （2日目）	受付	分科会 （支部提案討議・ 本部討議）		昼食 移動	全体研究会 II・まとめの会			閉会式 引継式		
				分科会 報告	休憩	シンポ ジウム				

- 9 参加者 公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校事務職員
 その他学校事務担当職員 教育委員会事務局職員及び教育関係者等

10 研究テーマ及び会場

【1日目】8月3日(木)

全体会	会場 フェニックス・プラザ 大ホール 福井市田原1丁目13-6 TEL 0776-20-5060 (定員 参集:1,250名 オンライン:400名)
-----	--

【2日目】8月4日(金)

本部研究分科会 (全事研本部)	テーマ 地域とともにある学校をつくるリーダーシップと組織開発 - 多様な人材の可能性を引き出す学校事務 - 会場 フェニックス・プラザ 大ホール 福井市田原1丁目13-6 TEL 0776-20-5060 (定員 参集:650名 オンライン:100名)
第1分科会 (東海プロジェクト)	テーマ 「リーダーにとって都合の良い組織」を作る - 変わらないを変える自走する組織 - 会場 福井県民ホール 福井市手寄1丁目4-1 アオッサ8F TEL 0776-87-0003 (定員 参集:100名 オンライン:50名)
第2分科会 (奈良支部)	テーマ 「ささえる・つなぐ・ひらく」でやるシカない!! - まずは、できることからやってみよう!! - 会場 ハピリンホール 福井市中央1丁目2-1 ハピリン3F TEL 0776-20-2901 (定員 参集:100名 オンライン:50名)
第3分科会 (新潟支部)	テーマ 子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校づくり - ACTでつくる組織のミライ - 会場 福井県織協ビル ホール 福井市大手3丁目7-1 織協ビル10F TEL 0776-22-1411 (定員 参集:100名 オンライン:50名)
第4分科会 (富山支部)	テーマ 子どもの豊かな育ちに貢献できる事務職員になろう 「リーダーシップを発揮し、学校事務に変革を」 - 学校徴収金事務から組織開発へ - 会場 福井県国際交流会館 多目的ホール 福井市宝永3丁目1-1 TEL 0776-28-8800 (定員 参集:100名 オンライン:50名)
第5分科会 (石川支部)	テーマ 学校のスタッフとして生き生きと働く! - 自由な発想で学校事務をデザインする - 会場 福井県国際交流会館 特別会議室 福井市宝永3丁目1-1 TEL 0776-28-8800 (定員 参集:100名 オンライン:50名)
第6分科会 (福井支部)	テーマ 「意識」×「仕組み」で「協働する組織文化」を創り出そう! - ポジティブに しなやかに 進化し続ける学校組織へ - 会場 フェニックス・プラザ 小ホール 福井市田原1丁目13-6 TEL 0776-20-5060 (定員 参集:100名 オンライン:50名)

【2日目】8月4日(金)

全体会	会場 フェニックス・プラザ 大ホール 福井市田原1丁目13-6 TEL 0776-20-5060 (定員 参集:1,250名 オンライン:400名)
-----	--

- 11 文部科学省行政説明 (文部科学省)
- 12 全体研究会Ⅰ 地域とともにある学校をつくるリーダーシップと組織開発 (全事研本部)
- 13 全体研究会Ⅱ・まとめの会 (全事研本部)
- 14 参加費 5,000円

第 55 回全国公立小中学校事務研究大会（福井大会）

研 究 概 要

1 大会テーマとそのねらい

戦略領域「リーダーシップと組織開発」

大会テーマ「地域とともにある学校をつくるリーダーシップと組織開発」

第9次研究中期計画では、学校事務のミッションを達成するための課題として五つの戦略領域を設定し、持続可能な社会の創り手となる人材をはぐくむ新たな学校像を創造するための学校マネジメントに必要な組織力やリーダーシップ、多様な主体との協働等について追究してきました。最終年次に当たる福井大会では、「リーダーシップと組織開発」を軸に、より良い学校づくりの具現化に向けた理論研究・実践研究等を通して、ミッションである「子どもの豊かな育ちを支援する」学校事務を追究し、教育の質やその効果を高めることを目指します。

少子高齢化や人口減少が続いているなか、グローバル化の進展やテクノロジーの進化によって社会の変化は加速度を増すとともに、様々な原因や要因がかかわり合うことで社会課題は多様化・複雑化しています。このような時代を生き抜き、未来を切り拓いていく子どもには、自分のよさや可能性を信じ、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となるための資質・能力が必要です。そのためには、学校・家庭・地域の連携・協働によって社会全体で子どもの学びの場を創ることが必要であり、その活動を持続可能なものとするためにすべての人がいきいきと活躍できるような組織の在り方が求められています。学校においてもいじめや不登校等への対応、特別支援教育の充実、ICTの活用など複雑化・多様化した課題に対応するために、スクールカウンセラーやICT支援員といった専門スタッフとの協働や児童相談所や福祉事務所など関係機関との連携が求められています。

考え方や価値観、働き方や雇用形態が異なる様々な人や主体が学校にかかわるなかで、チームとして子どもの学びを協創していくためには人と人との関係性に働きかけ、組織やチームの活性化を目指す組織開発が有効です。組織開発とは、組織の有効性・健全性を高めることを目的に行う組織の変革やそのプロセスであり、本会では、戦略的な協働を通して、地域とともにある学校の組織文化をポジティブなものに変革するプロセスと捉えてきました。さらに、外的環境、ミッション、戦略、文化、構造、仕事の方針や進め方など組織内のあらゆる事柄に働きかけることによって、全体的に組織力を高めることを目指す体系的なプロセスとも考えます。

また、異なった価値観や背景をもった各主体と協働し組織力を高めていくには、目標を共有するために理念を示し、組織の方向付けを行うリーダーとしての役割だけではなく、より良い人間関係を維持しながら目標達成に向けた行動力を引き出すリーダーシップが重要であると考えます。状況に応じて様々な主体が互いに信頼しながら能動的に責任をもって仕事を推し進めるリーダーシップを発揮していくことで、組織を構成する人々の意識や行動に影響を与えることができると考えます。そのため、事務職員は事務をつかさどる職として自らがリーダーシップを発揮することだけでなく、各主体がリーダーシップを発揮できる環境や仕組みを整えることができるのではないかと考えます。そのことにより、互いに影響を与え合い、子どもの学びを豊かにするとともに地域全体で子どもをはぐくむ新たな組織文化が創造されていくと考えます。

「次世代の学校をマネジメント」を基盤とした第9次研究中期計画の総括として、以下の課題を整理し、リーダーシップと組織開発における事務職員の役割とキャリア形成・能力開発や共同学校事務室の在り方、役割について追究します。

- (1) 学校におけるリーダーシップと組織開発の在り方
- (2) 組織開発における事務職員・共同学校事務室の役割

今大会は、第51回岡山大会以来の参集可能な大会となります。一般財団法人日本総合研究所が発表している「全47都道府県幸福度ランキング」で5回連続総合1位となっている幸福度日本一の福井の地で、全国の皆様とともに子どもの学びにかかわるすべての人のウェルビーイングを高め、持続可能な組織体制を構築する学校事務の在り方を展望しましょう。

2 全体研究会Ⅰ（1日目） 本部研究提案

全体研究会Ⅰでは、全事研本部の研究の方向性を示す機会として、本部研究の提案を行います。このことにより、テーマと課題の共有が可能となり、分科会討議が更に深まるものと考えます。

テーマ 「地域とともにある学校をつくるリーダーシップと組織開発」

これまで第9次研究中期計画での研究を通して、多様な主体がビジョンを共有し、学校のマネジメント機能を強化しながらチームとして課題を解決していくことが、子どもの生きる力をはぐくむことにつながると考え研究を推進してきました。情報技術の急速な進展等により変化のスピードが増すと共に課題の複雑性も増し、人々の生活様式や幸福に対する価値観も多様化し続ける時代において、子どもが生きる力を確実に身に付けるためには、学校・家庭・地域のつながりをより一層深め、それぞれが強みを十分に生かして子どもの豊かな学びの場を協創する地域とともにある学校づくりが求められています。そのためには、学びにかかわる一人一人が責任と権限をもち、互いに尊重し認め合いながら体系的かつ相乗的に学校力を高めていく組織開発が重要であると考えます。このような組織開発を進める上で、様々な背景や思いをもった個人に働きかけ、組織や活動の方向性を示し、当事者としての意識と目標達成に向けた行動を引き出すリーダーシップを発揮する人材が不可欠だと考えます。

本研究では、地域とともにある学校の組織開発を推進するリーダーシップの在り方や、状況や場面に応じてだれもがリーダーシップを発揮することのできる環境を創り出す事務職員・共同学校事務室について追究しています。そして、事務職員自身がリーダーシップを発揮するだけでなく、総務・財務等に通じる専門職として、様々な経営資源を駆使して戦略的に子どもの学びにかかわる人々のリーダーシップを引き出すことで協働体制を構築していく姿を描きます。さらに、教育に関して幅広く多角的な視点を持ち、人と人とのより良い関係をマネジメントし、子どもの豊かな育ちとウェルビーイングを実現する地域とともにある学校を実現していく事務職員・共同学校事務室の役割について提案します。

3 分科会テーマと概要（2日目 午前）

大会2日目の午前は分科会を行います。第9次研究中期計画の5年次となる大会テーマ「地域とともにある学校をつくるリーダーシップと組織開発」の下、それぞれに特色ある研究発表と活気に満ちた討議が展開されます。

□本部研究分科会

1日目の全体研究会Ⅰでの提案に基づいた研究討議を行い、研究の更なる深まりを目指します。

□第1～6分科会

本大会では、東海プロジェクトと奈良支部、新潟支部、富山支部、石川支部、福井支部の協力を得て分科会を行います。各分科会では、それぞれの支部で積み上げられた研究に基づく提案と、それを基にした研究討議が行われます。工夫を凝らした分科会運営によって、参加者が今後の実践につながるヒントを見出せるのではないかと期待しています。

4 全体研究会Ⅱ・まとめの会（2日目 午後）

全体研究会Ⅱでは、はじめに各分科会での討議内容や今後の研究課題等について分科会担当者より報告を行います。その後、1日目の内容や各分科会での討議を踏まえ、シンポジウムを行います。

□分科会報告 本部研究を含めた各分科会担当者より、提案及び討議内容について報告をいただきます。

□シンポジウム テーマ「地域とともにある学校をつくるリーダーシップと組織開発」

「次世代の学校をマネジメント」を基盤とした第9次研究中期計画の総括として、シンポジストそれぞれの立場から御発言いただき、戦略領域「リーダーシップと組織開発」を軸に地域とともにある学校づくりを推進していく学校の在り方を考えるとともに、つかさどる職として全体を見通し、学校の組織力を高めていく事務職員の役割について展望する機会とします。

第1分科会 東海プロジェクト

「リーダーにとって都合の良い組織」を作る － 変わらないを変える自走する組織 －



1 研究テーマ設定の理由

東海プロジェクトでは、現代の組織が存続し、維持発展させていくには何が必要なのかを検討しました。人々の価値観や働き方の多様性、リーダー不足、働き方改革、これらの背景をもった新しい時代の組織はどうあるべきなのでしょう。組織開発にその解決策を求め、リーダーの視点から組織開発を研究しました。

2 提案発表の骨子

組織の持続可能な姿を「リーダーにとって都合の良い組織」と位置付けました。その姿とは「自走する組織」であると考え、組織開発論に共通する四つの要素「効果性」「健全性」「文化」「組織の再生力」と、近年重要視されている「心理的安全性」を軸に学校の組織開発を提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案発表と指導助言者による講義形式

4 分科会討議の柱

- (1) 「自走する組織」による学校組織の存続と維持改善
- (2) 組織開発における心理的安全性の重要性
- (3) 組織の文化風土を変える学校事務職員のリーダーシップとは？

5 参加者へのお願い

学校の組織開発をスモールステップで考えていきます。ホットワードは心理的安全性です。皆さんの勤務公署や同僚教職員を思い浮かべながら御参加ください。

#福井、#全国大会、#組織開発、#心理的安全性、#自走、#スモールステップ、#都合の良い

第2分科会 奈良支部

「ささえる・つなぐ・ひらく」でやるシカない！！ － まずは、できることからやってみよう！！ －



1 研究テーマ設定の理由

グランドデザイン「すまいる奈良2 Since2021」では、ミッション「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」達成に向けた目指す事務職員像を三つの領域「ささえる・つなぐ・ひらく」で示しています。会員一人一人が、「ささえる・つなぐ・ひらく」を合言葉に、自分のできることを見つけ、新たな一歩を踏み出すことが大切だと考え、テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

事務職員に求められる役割について、現状の会員の実態や意識を問うアンケート調査と、「ささえる・つなぐ・ひらく」の三つの視点の意識を問うアンケート調査を行いました。結果から見えてきた課題や、求められる役割を果たすために、意識改革して取組を進め、「自ら考え行動する事務職員」としてバージョンアップを目指します。事務職員の果たすべき役割や求められる役割について、皆様と一緒に考え、深めていきたいと思えます。

3 分科会運営の形態

レクチャーディスカッション（講演式討議）

4 分科会討議の柱

- (1) 「ささえる・つなぐ・ひらく」の取組について
- (2) 事務職員に求められる役割について

5 参加者へのお願い

「まずは、できることからやってみよう！！」についての実践例やアドバイス等をお願いいたします。

第3分科会 新潟支部

子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校づくり — ACTでつくる組織のミライ —



1 研究テーマ設定の理由

新潟県学校事務研究協議会（以下、新事研）では、「子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校づくり」を目指し、県内各支部との連携を図りながら、会員個々の実践や行動を促すための取組を推進しています。令和3年3月には、時代の変化と社会の要請に応えるべく、「気づき」からの「主体的な行動」をより一層促していくことを目的として、これまでの研究基本要領を一部改訂し、「研究基本要領ACT—未来を拓く 新事研」を策定しました。全国的にも高い割合で事務職員の若年化が進む新潟において、実践や行動を促すキーワード「ACT」を合言葉に、個々の主体的な行動が、組織の一層の活性化につながり、その結果、学校にかかわるすべての人の活躍につながると考え、本テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

県内会員の声である実態調査結果や県内各支部の実践例から、主体的な行動や実践の考え方や、多様化・複雑化する時代において柔軟に対応できる組織の在り方を考えます。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる実践例を交えた提案発表を行い、指導者や参加者も交えた意見交流を行います。

4 分科会討議の柱

- (1) 主体的に行動する事務職員の在り方とは
- (2) 多様化・複雑化する時代において、かかわるすべての人の主体性をはぐくむ組織の在り方とは

5 参加者へのお願い

主体的な行動につなげるために、全国各地の実践例を共有したいので、積極的な意見交流をお願いします。

第4分科会 富山支部

子どもの豊かな育ちに貢献できる事務職員になろう 「リーダーシップを発揮し、学校事務に変革を」 — 学校徴収金事務から組織開発へ —



1 研究テーマ設定の理由

富山県公立小中学校学校事務職員協会では「子どもの豊かな育ちに貢献できる学校事務職員になろう！強みを活かして仲間と協働し、進化し続ける事務職員をめざして」と『とやま学校事務ビジョン』を掲げ、邁進してきました。今回、学校唯一の行政職としての強みを生かせる学校財務（学校徴収金）事務において事務職員がリーダーシップを発揮することで組織開発につながると考えたため、本テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

富山県の事務職員の現状についてアンケート調査を行い、結果から見えてきた実態や課題について検討しました。そして、事務職員の本分である財務のなかでも、実務を進める上で教員との連携をより必要とする学校徴収金事務において業務状況を改善した事例を取り上げ、「学校」という組織をよりよくするために事務職員に求められるリーダーシップについて考察し、これからの事務職員が果たすべき役割や働きかけについて考えたいと思います。

3 分科会運営の形態

レクチャーディスカッション（講演式討議）

4 分科会討議の柱

- (1) 子どもの豊かな育ちに貢献できる事務職員になるためには
- (2) 事務職員が中心となり、学校組織に働きかける可能性は

5 参加者へのお願い

実践についてのアドバイスと、これからの事務職員が果たすべき役割や働きかけについて意見交流をお願いします。

第5分科会 石川支部

学校のスタッフとして生き生きと働く！ — 自由な発想で学校事務をデザインする —



1 研究テーマ設定の理由

石川県では令和2年度以降ようやく各市町教育委員会から職務標準表が提示されはじめ、令和3年度には一つの市に共同学校事務室が導入されました。研修制度は必ずしも整備されている状況とは言えず、事務職員が組織的に働くには厳しい環境ですが、石川支部のグランドデザインに掲げられた行動指針に基づき研究を進めています。自由な発想で学校業務改善実効策を企画・実行し、自ら学校事務をデザインする事務職員を目指していきたいと考え、本テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

石川支部では体系的な研修制度の導入を目指した育成指標を作成し、チームとして課題解決に取り組む経験不足を克服するための研修企画や研修テキストの作成、共同学校事務室を見越した事務処理システムの標準化に取り組んできました。新しい時代に適応した事務体制への変換の必要性と役割を実感し、皆が学校のスタッフとして生き生きとリーダーシップを発揮し働くことを目標に提案します。

3 分科会運営の形態

ワークショップ

4 分科会討議の柱

- (1) 生き生きと働き続けるために目指すべきリーダーシップ
- (2) 前向きに企画し実行する意欲を高める手立てと、それを支援する人材育成の環境づくり

5 参加者へのお願い

今大会のキャッチフレーズのごとく新時代を掘り起こす分科会にしたいです。活発な討議をお願いします。

第6分科会 福井支部

「意識」×「仕組み」で「協働する組織文化」を創り出そう！ — ポジティブに しなやかに 進化し続ける学校組織へ —



1 研究テーマ設定の理由

私たちは、事務職員の主体的な働きかけや行動により、学校組織の意識改革や仕組みづくりを推進し、学校組織開発につなげていくことに取り組んでいます。組織内の異なる価値観を受け入れ共感し、納得解を導いていける「協働する組織文化」の醸成に向けて、取組の可能性を広げていきたいと思ひます。

2 提案発表の骨子

より良い学校組織の構築には、目標を共有し、対話を重ねて改善に向けて創り上げていく好循環が重要であり、私たちはその行動や働きかけの積み重ねが「協働する組織文化」の醸成につながるものと考えました。学校組織開発や事務職員の学校運営参画における「意識と覚悟」「実践スキル」「体制整備」の強化について提案し、前向きに進化し続ける学校組織へとマネジメントしていける方策を探りたいと思ひます。また、私たちに必要とされる主体的な行動とリーダーシップについても、皆さんと一緒に深めたいと思ひます。

3 分科会運営の形態

参集型+双方向オンライン形式 グループワーク

4 分科会討議の柱

- (1) 学校の「協働する組織文化」の醸成に向けて、事務職員が何をどうマネジメントしていけるか
- (2) 体制整備や円滑な学校組織の仕組みづくりのために必要なこととは

5 参加者へのお願い

活発な意見交換に御協力をお願いします。

全事研からのお知らせとお願い

○ 総会について

全国研究大会に先立ち、次のとおり総会を開催いたします。関係者の方々は定刻までに御出席ください。

【期 日】 令和5年8月2日(水) 受付 12時00分 開会 12時20分

【会 場】 フェニックス・プラザ 小ホール

〒910-0018 福井市田原1丁目13-6 TEL 0776-20-5060

◎ JR福井駅 西口より フェニックス・プラザまで 徒歩約20分

(福井駅～田原町駅 えちぜん鉄道電車利用の場合 約10分、その後徒歩 約1分)

(福井駅～田原町駅 福井鉄道路面電車利用の場合 約10分、その後徒歩 約1分)



○ 全事研加入の御案内

全事研は、学校事務の研究・研修の場です。未加入の方(団体)は、手続きをお願いします。

◎ 全事研加入に関する問い合わせ先

全国公立小中学校事務職員研究会 事務局長 おおくま やすゆき 大熊 康之

所属校 静岡県清水町立清水中学校

所在地 〒411-0903 駿東郡清水町堂庭 267 番地

TEL 055-975-1073 FAX 055-975-1334

実行委員会からのお知らせとお願い

■ 参加申込みについて

本大会は、Webによるお申込み（大会参加・弁当・宿泊）を原則とさせていただきます。
なお、大会参加申込みは定員に達した時点で受付を終了いたします。

※ 弁当・宿泊の申込みは、(株)日本旅行 T i S 福井支店 との旅行契約となります。

大会 Web ページ <http://zenjiken-fukui2023.com/>



参加分科会・宿泊は申込み受付順ですが、Web 申込みを優先させていただきます。

(FAX による申込みの場合は、別途事務手数料 300 円が必要です。また、受付期間終了日以降に FAX 受付の処理を行いますので、その時点で御希望の分科会の申込みが定員数に達している場合には、本部研究分科会に参加とさせていただきます。あらかじめ御了承ください。)

1 受付期間 令和5年5月15日(月) ～ 令和5年6月16日(金)

「ご予約確認書(二次元コード付)」を必ず御持参ください。(印刷またはデータ)

「弁当引換券」は、必ず印刷して御持参ください。

(申込みの手順は、13 ページを御確認ください。)

2 大会参加の取消し(弁当・宿泊の変更等は 3 を参照してください。)

参加費支払後は、理由の如何にかかわらず、大会参加取消し及び参加費の返金はできません。
後日、研究集録を送付いたします。(送料着払い)

3 弁当・宿泊の変更等

- ① Web で申込まれた方は、受付期間中は Web で、受付期間を過ぎた場合は E-mail 又は FAX で手続きをしてください。電話による変更・取消しは受付いたしません。
- ② 変更・取消しにて生じた差額は、大会終了後に取消料・振込手数料を差し引いて返金いたします。
- ③ 変更・取消し手続きを E-mail 又は FAX で行う際、返金先の振込口座を記入してください。但し、クレジットカード支払の方は、クレジットカードへの返金となりますので、振込口座の記載は不要です。

<取消料>

取消日	7 日前まで	6 日～ 4 日前まで	3 日～ 前日まで	当日
弁当	無料	100%	100%	100%
宿泊	無料	無料	20%	100% (※)

※ ホテルによって異なる可能性がありますので、詳しくは(株)日本旅行 T i S 福井支店 にお尋ねください。

4 参加費等の送金

クレジットカード支払、コンビニ支払又は銀行振込にてお支払いください。

※ コンビニ決済手数料（コンビニ支払）・振込手数料（銀行振込）は各自で御負担願います。

【クレジットカード支払】 支払方法は、Web の案内を御覧ください。

【コンビニ支払】 ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・セイコーマート・デイリーヤマザキでお支払いが可能です。各店舗でのお支払い手順については、Web 申込み画面で御確認ください。

※ 選択いただいたコンビニエンスストア以外での払込みはできません。

※ 表示されたお支払期日までにお支払いください。

【銀行振込】 Web 申込みの際、お一人様ずつ振込口座を指定されますので、そちらの口座を御利用ください。

5 その他

① 車椅子で参加される方は、大会申込みの際にお知らせください。詳細は、E-mail 又は FAX にて御連絡させていただきます。

② 申込みに当たっての個人情報については、本大会のみに利用させていただきます。

■ 研究集録の引換え

1 大会期間中、フェニックス・プラザ受付で「ご予約確認書」の二次元コードを提示して「研究集録」と引き換えます。申込みの際に、研究集録受取場所を「2 日目分科会会場」とされた方については、2 日目の分科会会場の受付でお渡しします。

2 オンライン参加の方は、大会前 7 月 24 日頃から順次勤務先に発送します。（送料不要）

3 当日参加できなくなった場合は、参加される方に「ご予約確認書」を預けていただき、代理受領をお願いします。受け取りがない場合は、大会後、勤務先に発送します。（送料着払い）

4 資料参加の方は、大会前 7 月 24 日頃から順次勤務先に発送します。（送料不要）

■ 昼食（弁当）について

1 日目及び 2 日目の弁当を 1 食 1,000 円（税込、お茶付き）で斡旋します。参加申込みの際に注文をしてください。弁当引き換えは、フェニックス・プラザ 1 階ホワイエにて、大会 1 日目は 12:30 から 13:30 まで、大会 2 日目は 12:30 から 14:00 まで行います。必ず「弁当引換券」を片面印刷して御持参ください。

※ 分科会会場での弁当の引き換えは行いません。

※ 弁当の申込みは、(株) 日本旅行 T i S 福井支店 との旅行契約になります。

■ 交通・駐車場について

全体会場・各分科会会場に駐車場はございません。公共交通機関を御利用ください。

【大会 1 日目・2 日目の朝】

8 月 3 日（木）	えちぜん鉄道 三国芦原線・三国港行	福井駅発	9:39	田原町駅着	9:48
	福井鉄道 福武線・田原町行		9:24		9:35
8 月 4 日（金）	えちぜん鉄道 三国芦原線・三国港行	福井駅発	9:09	田原町駅着	9:18

【大会 2 日目の昼】

8 月 4 日（金）	えちぜん鉄道 三国芦原線・三国港行	福井駅発	12:39	田原町駅着	12:48
			13:09		13:18
			13:39		13:48
	福井鉄道 福武線・田原町行	福井駅発	12:55	田原町駅着	13:05
			13:25		13:35

■ 宿泊について

本大会では、参加申込みの際に宿泊等の受付を行います。詳しくは 13 ページの Web による申込み方法を御覧ください。

- 1 宿泊施設一覧は 15 ページを参照してください。1 泊朝食付きの料金（税・サービス料込み）が基本です。
- 2 FAX にて申込みの方で御希望のホテルが満員になった場合は、ほかのホテルへの配宿を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。
- 3 チェックイン・チェックアウト時間は各ホテルにより異なりますので、各自で御確認ください。
※ 宿泊の申込みは、(株)日本旅行 T i S 福井支店 との旅行契約になります。

■ 領収書について

- 1 大会参加費の請求書・領収書については、研究集録の最後のページに綴じ込まれていますので、御確認ください。
- 2 宿泊費・弁当代の領収書の発券を希望される場合は、入金後 8 月 31 日（木）までの間に、申込みサイトより、「株式会社 日本旅行」名義の領収書の出力が可能です。ただし、コンビニ支払を選択した場合には、サイトからの領収書は発行できませんので、御注意ください。

■ 環境配慮について

本大会は環境に配慮して運営いたしますので、クールビズで御参加ください。また斡旋した弁当以外のゴミは各自でお持ち帰りください。

■ 録音等について

文部科学省行政説明の録音、録画、写真保存及び無断転載等を行わないようお願いいたします。

■ クロークの利用について

各会場に基本的にクロークは用意しておりませんので、あらかじめ御了承ください。

■ 感染症対策について

大会当日は、各自検温の上、マスク着用での御参加をお願いします。発熱、咳などの風邪症状や倦怠感がある場合は御参加をお控えください。各会場に消毒アルコールが設置されていますので、手指消毒をお願いします。また、昼食時は黙食をお願いします。

■ 天変地異等により開催中止となった場合について

台風・地震など災害が起こった際の中止等については、大会 Web ページにて御連絡いたします。

■ 問い合わせ

- ◇ 大会全般に関すること

第 55 回全国公立小中学校事務研究大会（福井大会）実行委員会
事務局長 竹山 理恵子
E-mail r-simizu@fukui-city.ed.jp
※ お問い合わせは E-mail にてお願いします。

- ◇ 参加申込み・弁当・宿泊に関すること

(株)日本旅行 T i S 福井支店 担当 青葉・白崎
〒910-0006 福井市中央 1-1-25 福井駅構内ブリズム福井内
TEL 0776-22-2498 FAX 0776-22-2733
E-mail zenjiken_2023@nta.co.jp
営業時間 10:00 ~ 18:00（土日祝日は休業）
※ FAX・E-mail でのお問い合わせは、御連絡までに御時間をいただく場合があります。

大会期間中の連絡先については、大会 Web ページにて御案内いたします。全体会会場や分科会会場へ直接問い合わせをされないようお願いいたします。

オンライン参加の方へ

- 参加申込みについて、現地参加の方と同じシステムによりお申込みください。
(申込みの手順は、17 ページを御確認ください。)
 - オンラインの参加申込みは、個人での御登録をお願いします。
 - 会議 Web システム Zoom を利用しての参加となります。
事前に、Zoom のインストールをお願いいたします。
ID 及びパスコードは、後日、申込み時の登録アドレスに送付します。
(令和 5 年 7 月中旬以降予定)
 - オンライン参加時の諸連絡は、ID 及びパスコードを送付する際にお知らせします。
 - 研究集録は、大会前 7 月 24 日頃から順次勤務先に発送します。
(ヤマト運輸ネコポス便、送料不要)
- 研究集録以外の資料につきましては、大会 Web ページよりダウンロードをお願いします。
- 各日程のオンライン運営方法と参加定員は以下のとおりです。

8 月 3 日 (木)		
日 程	運営方法	オンライン 参加定員
開会式	ライブ配信	400 名
オリエンテーション		
文部科学省行政説明		
活動報告		
全体研究会 I		

8 月 4 日 (金)			
日 程	運営方法	オンライン 参加定員	
分 科 会	本部研究分科会	双方向	100 名
	第 1 分科会 (東海)	ライブ配信	50 名
	第 2 分科会 (奈良)	ライブ配信	50 名
	第 3 分科会 (新潟)	ライブ配信	50 名
	第 4 分科会 (富山)	ライブ配信	50 名
	第 5 分科会 (石川)	ライブ配信	50 名
	第 6 分科会 (福井)	双方向	50 名
全体研究会 II・まとめの会 閉会式・引継式	ライブ配信	400 名	

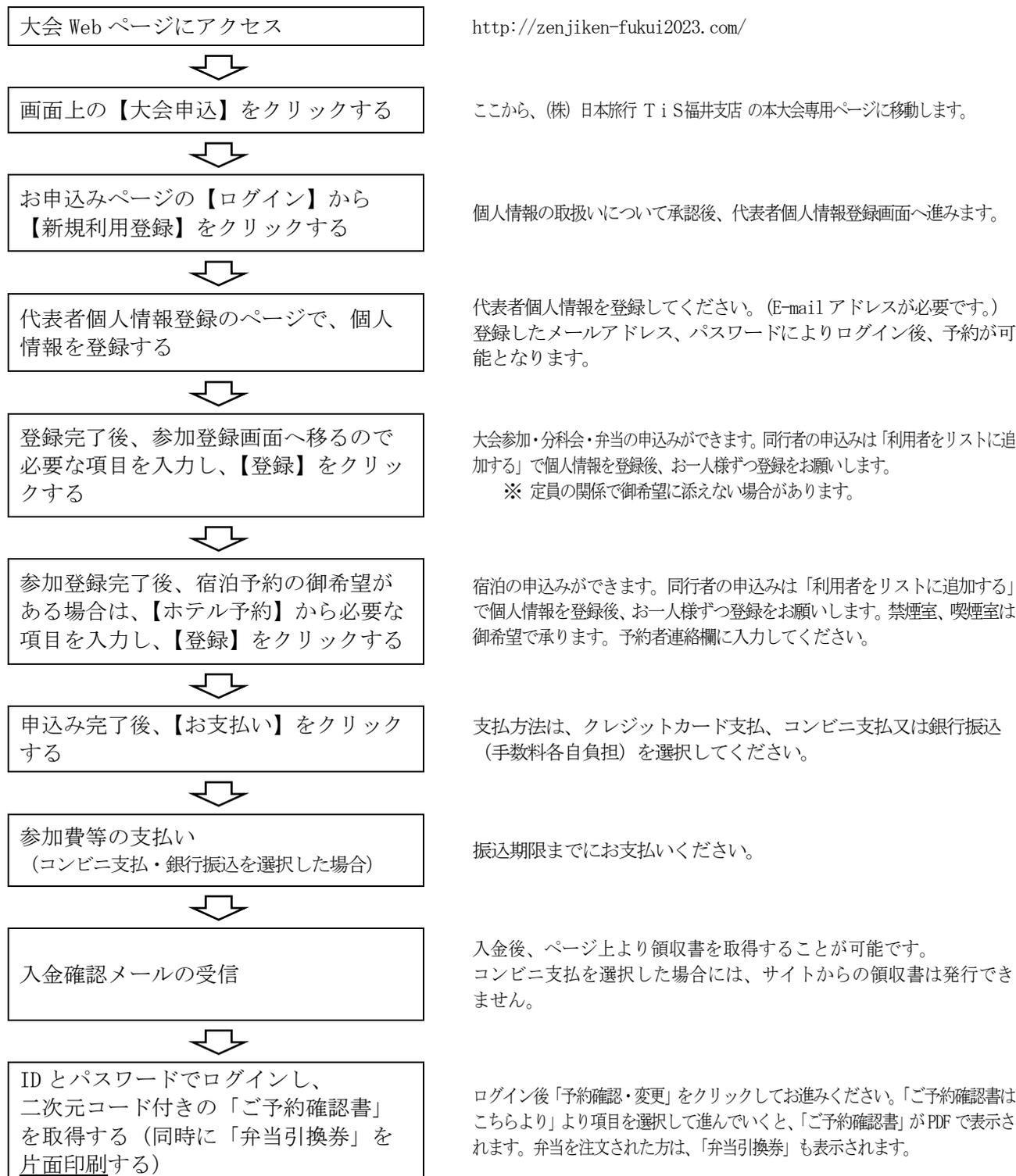
*ライブ配信 …… 一方向でのライブ視聴のみ (予定)

*双方向 …… Zoom での質疑応答やブレイクアウトルームを利用したの
グループ討議など (予定)

- 大会当日は、Zoom に関する使用方法・接続方法等、参加者個々の接続環境及び技術的な問題についての対応はできかねますので、御了承ください。
- 各分科会の申込みはお一人 1 分科会となります。
- 録画配信の予定はありません。

大会参加申込み方法（現地参加の方）

□ Web による申込み方法（大会参加・弁当・宿泊）



※ ログイン情報メモ

登録メールアドレス	
パスワード	

□ FAX による申込み方法（大会参加・弁当・宿泊） ※ Web 申込みできない環境にある場合のみ

18 ページの FAX 専用参加申込書に
必要事項を記入し、送信する



（株）日本旅行 T i S 福井支店より、
請求書が FAX 返信されるので、内容を
確認する

別途事務手数料 300 円が必要です。

※ 御希望のホテルが満員の場合はほかのホテルへ変更していただくことがあります。あらかじめ御了承ください。



参加費等の支払い

振込期限までにお支払いください。



受付期間終了後に「ご予約確認書」・
「弁当引換券」（弁当注文者のみ）等の
送付

領収書の発行を希望された場合は、「ご予約確認書」等と同時に郵送されます。

「ご予約確認書」・「弁当引換券」（弁当注文者のみ）は大会当日に御持参ください。

○ 福井大会 全体会・分科会の会場一覧

場所	会場名・所在地・電話番号	使用目的
①	フェニックス・プラザ 大ホール・小ホール 福井市田原1丁目13-6 TEL 0776-20-5060	全体会 本部研究分科会 第6分科会
②	福井県民ホール 福井市手寄1丁目4-1 アオッサ8F TEL 0776-87-0003	第1分科会
③	ハピリンホール 福井市中央1丁目2-1 ハピリン3F TEL 0776-20-2901	第2分科会
④	福井県織協ビル ホール 福井市大手3丁目7-1 織協ビル10F TEL 0776-22-1411	第3分科会
⑤	福井県国際交流会館 多目的ホール・特別会議室 福井市宝永3丁目1-1 TEL 0776-28-8800	第4分科会 第5分科会

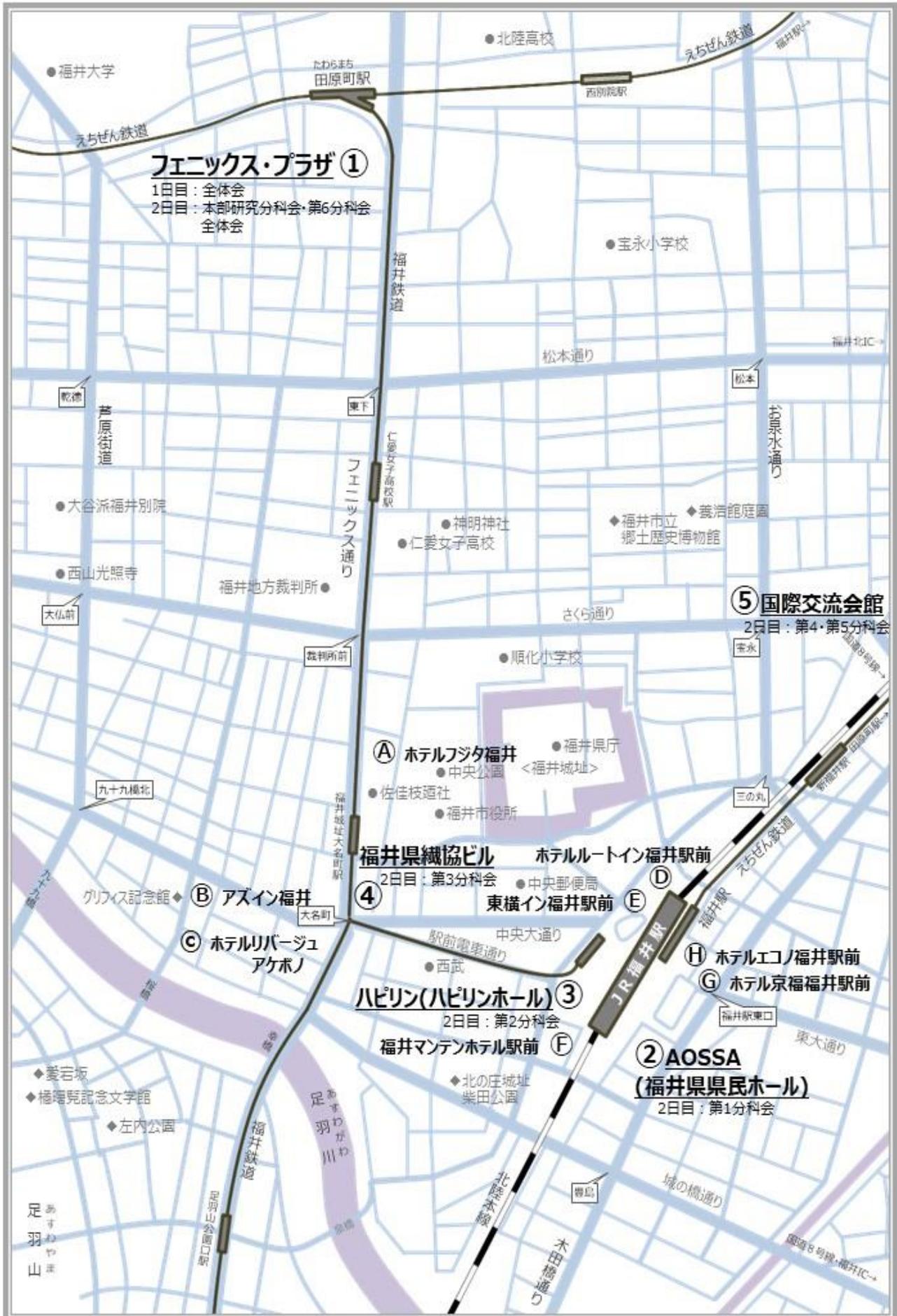
○ 宿泊の御案内

8月2日(水)、3日(木)の1泊朝食付き(税サービス料込み)の料金です。

※ 朝食不要の場合も同料金です。

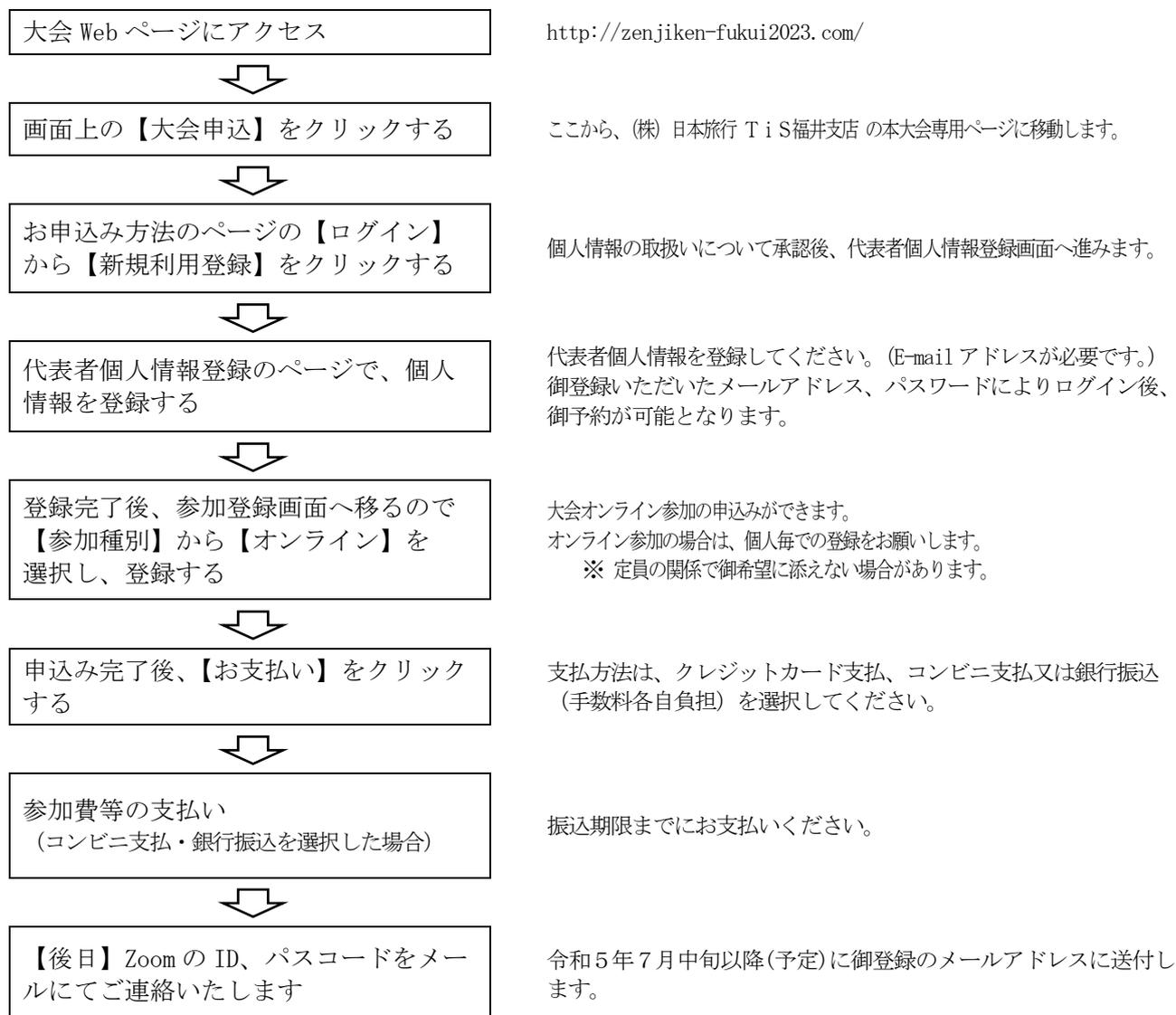
申込 記号	宿泊施設名	部屋 タイプ	宿泊料金	JR 福井駅からの アクセス
A	ホテルフジタ福井	シングル	9,500円	徒歩8分
B	アズイン福井	シングル	7,000円	徒歩10分
C	ホテルリバージュアケボノ	シングル	9,900円	徒歩12分
D	ホテルルートイン福井駅前	シングル	9,200円	徒歩1分
E	東横イン福井駅前	シングル	8,000円	徒歩1分
F	福井マンテンホテル駅前	シングル	9,500円	徒歩1分
G	ホテル京福福井駅前	シングル	8,000円	徒歩1分
H	ホテルエコノ福井駅前	シングル	7,000円	徒歩1分

※FAXでのお申込みの際は、必ず申込記号を明記してください。なお、部屋数に限りがあり、御希望に添えない場合もありますので、あらかじめ御了承願います。



大会参加申込み方法（オンライン参加の方）

□ Web による申込み方法（大会オンライン参加）



※ ログイン情報メモ

登録メールアドレス	
パスワード	

※Web 申込みできない環境にある場合のみ、FAX による申込みを受け付けます。(別途 300 円の手数料が必要になります。)
 オンライン参加は、Web 申込みのみとさせていただきますので、FAX での参加申込みはできません。

「第 55 回全国公立小中学校事務研究大会(福井大会)」FAX 専用参加申込書

宛先: (株)日本旅行 Tis 福井支店 担当 青葉・白崎 行き

(TEL:0776-22-2498 E-mail:zenjiken_2023@nta.co.jp)

下記に必要事項を御記入いただき、FAX にてお送りください。

※ 申込締切日:令和5年6月16日(金)

FAX : 0776 - 22 - 2733

申込日 令和5年 月 日

学校名 (所属先)		所属先 都道府県名			
職名		フリガナ			
		氏名			
経験年数		<input type="checkbox"/> 1~10年		<input type="checkbox"/> 11~20年	
		<input type="checkbox"/> 21年以上			
連絡先	所属住所 (所在地)	〒			
	TEL (所属)	FAX (所属)	携帯TEL (任意)	- -	
	E-mail	@			
参加期間	<input type="checkbox"/> 2日間		<input type="checkbox"/> 1日目(8/3)のみ		<input type="checkbox"/> 2日目(8/4)のみ
	<input type="checkbox"/> 集録のみ希望(送料不要)				
参加希望分科会	<input type="checkbox"/> 本部研究分科会		<input type="checkbox"/> 第3分科会		<input type="checkbox"/> 第6分科会
	<input type="checkbox"/> 第1分科会		<input type="checkbox"/> 第4分科会		※分科会スタッフの方は✓を入れてください。 <input type="checkbox"/> 分科会スタッフ
	<input type="checkbox"/> 第2分科会		<input type="checkbox"/> 第5分科会		
※希望分科会が定員を上回った場合、本部研究分科会へ参加いただくことになります。					
研究集録受取場所	<input type="checkbox"/> フェニックス・プラザ(1日目)		<input type="checkbox"/> 2日目分科会会場		<input type="checkbox"/> フェニックス・プラザ(2日目午後)
宿泊	8月2日(水)		8月3日(木)		※斡旋宿泊施設を希望しない方へ お手数ですが、補助金申請のため、8月3日(木)の 宿泊について、御回答ください。 8月3日(木)の宿泊先 <input type="checkbox"/> 福井県内の宿泊施設を利用する そのうち、 <input type="checkbox"/> 福井市内の宿泊施設を利用する <input type="checkbox"/> 福井県外の宿泊施設を利用する <input type="checkbox"/> 宿泊施設は使用しない(友人宅や実家など、 宿泊に経費の支出を伴わない宿泊を含む) ご協力ありがとうございました。
	<input type="checkbox"/> 希望する		<input type="checkbox"/> 希望する		
	第1希望 記号		第1希望 記号		
	第2希望 記号		第2希望 記号		
弁当	8月3日(木)		8月4日(金)		
	<input type="checkbox"/> 希望する		<input type="checkbox"/> 希望する		
連絡事項	<input type="checkbox"/> 領収書の発行を希望		<input type="checkbox"/> 車椅子を使用		
	<input type="checkbox"/> その他()				

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

- ①当社では、お客様から御提供いただきました個人情報を厳重に管理し、申込みいただきました宿泊の手配、チケットの発送、お客様との連絡及び大会主催者への提供並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- ②その他、当社の個人情報の取り扱いにつきましては、当社ホームページ(<https://www.nta.co.jp>)を御参照ください。
- ③個人情報の取り扱いに関する問い合わせ先(株)日本旅行 Tis 福井支店(担当 青葉・白崎) TEL:0776-22-2498



全国公立小中学校事務職員研究会

URL:<https://zenjiken.jp> E-mail: info@zenjiken.jp